



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三好 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,779	31.9	536		530		809	
2020年3月期	5,547	16.8	207		206		144	

(注) 包括利益 2021年3月期 800百万円 (%) 2020年3月期 163百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	14.40		22.0	11.6	14.2
2020年3月期	2.58		3.5	3.8	3.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,040	3,276	81.1	58.26
2020年3月期	5,107	4,077	79.8	72.50

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,276百万円 2020年3月期 4,077百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	124	1	0	2,229
2020年3月期	105	53	2	2,350

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	37.6	20		19		3		0.05

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	59,640,348 株	2020年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2021年3月期	3,395,953 株	2020年3月期	3,395,996 株
期中平均株式数	2021年3月期	56,244,350 株	2020年3月期	56,244,419 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,187	31.4	499		525		832	
2020年3月期	4,645	14.1	208		203		139	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	14.81	
2020年3月期	2.48	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,790	3,139	82.8	55.82
2020年3月期	4,842	3,965	81.9	70.50

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,139百万円 2020年3月期 3,965百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
(その他)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）における世界経済は、新型コロナウイルスによる生産活動・消費行動停滞の影響を受けました。各国で導入されていた新型コロナウイルス感染症拡大対策のための移動制限等が緩和されたことに伴い、企業活動や経済活動に持ち直しの動きが見られていましたが、直近では欧米諸国を中心に感染が再拡大していることを受け、一部の国では再度移動制限が導入される等、世界経済は先行き不透明感が急速に高まっております。

わが国経済におきましても、緊急事態宣言の解除を受け、企業活動や経済活動に持ち直しの動きが見られていましたが、足元での新型コロナウイルス感染症再拡大への懸念が高まっており、未だ収束の見通しがつかないことから厳しい状況が続いております。

小売業界・卸売業界の状況につきましては、2020年4月7日に発出された緊急事態宣言解除後、経済活動の再開やGo Toキャンペーンなどの効果もあり、一定の回復をみせましたが、再び感染者が増加したことや賃金減少などが重しとなり、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループでは早期の業績回復と将来に向けた再成長を実現していくため、不採算事業の撤退、EC事業の立ち上げや新規商品の開発と展開、メディアに向けた情報発信の強化、営業強化による新規取引先の拡大、組織再編による体制強化などの取り組みを実施しました。またコスト削減や在庫の適正化、人員の適正化などにより損益分岐点売上高の改善を進めたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、主要取引先である百貨店や専門店の営業時間短縮や集客の低下、店舗撤退、催事販売会などの中止などが続いたこともあり、大幅な売上減少となりました。

以上の結果、売上高37億79百万円（前年同期比31.9%減）、営業損失は5億36百万円（前年同期は営業損失2億7百万円）、経常損失は5億30百万円（前年同期は経常損失2億6百万円）、また、新型コロナウイルス感染症に関連した助成金収入30百万円を特別利益に計上したものの、感染症関連損失44百万円及び馬里邑事業撤退に伴うブランド事業撤退損失2億24百万円、固定資産の減損損失29百万円等を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は8億9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失1億44百万円）と減収減益となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

(和装事業)

和装事業は、取引先拡大への営業強化、組織を横断した商品の展開、経費構造の大幅な見直しなどを進めた事で業績の回復は見られたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いたことで、主要取引先である百貨店や専門店の営業時間短縮・臨時休業や催事販売会などの中止、成人式やお祭りなどの中止の影響を受け大幅な売上減少となりました。連結子会社（株）吉利においてもECでの販路拡大などを進めましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いたことで、主要取引先の売上減及び店舗縮小などにより売上が大幅に減少しました。この結果、売上高6億95百万円（前年同期比40.9%減）、営業損失は1億81百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

(寝装事業)

寝装事業は、ギフト販売部で東北地区における新規得意先の拡大及び調達先の開拓を推進したことにより受注が増加しました。ソフラン販売部に関しては、ECでの販路拡大などを進めましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことにより、量販店・専門店取引において営業時間短縮や顧客の購買チャネルが店頭からネット通販へ移行したことによる集客の低下などの影響を受け、マットレスや寝装品の売上が減少しました。この結果、売上高4億77百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益は26百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

(洋装事業)

洋装事業は、アパレル販売部においてはBtoB及びBtoC向けのEC展開や新規取引先の拡大など、業績回復に向けた取り組みを強化しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続く主要取引先である婦人専門店からの受注減、百貨店の催事が縮小や中止となり売上減少となりました。また、九州を拠点とする丸福販売部においてはマスクなどの新商品の展開やEC展開などを進めましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続く主要取引先である百貨店の催事が縮小や中止となり売上減少となりました。馬里邑事業においては継続的に業績不振が続いている為、事業の撤退を判断いたしました。馬里邑バザールの開催や店舗でのセール、ECによる感謝袋の販売により売上が増加し、在庫の消化も計画通り進みました。一方で事業撤退に伴う在庫処分販売により粗利率の大幅な低下が発生したことで営業利益に影響しました。この結果、売上高14億34百万円（前年同期比29.3%減）、営業損失は1億80百万円（前年同期は営業損失26百万円）となりました。

(意匠燃糸事業)

意匠燃糸事業は、新商品の開発や営業強化による新規取引先の拡大、組織再編による体制強化などによる人員の適正化、経費の大幅な削減や在庫の適正化を遂行しましたが、国内においての新型コロナウイルス感染症の拡大により、主要取引先の店舗縮小などもあり大幅な受注の減少となりました。海外事業の堀田上海においては、中国での新型コロナウイルスの感染収束により中国国内向けの取引先からの受注は増加しましたが、日本企業向けの受注が大幅に減少しました。イェリ販売部におけるOEM事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり展示会開催が減少し、リモートでの商談を実施するなど営業強化を進めましたが、主要国内アパレル各社からの大幅な受注減が続き、売上減少となりました。この結果、売上高11億71百万円（前年同期比35.0%減）、営業利益は4百万円（前年同期比95.8%減）となりました。

2021年4月より、組織力の強化及び生産性の向上、組織を横断した商品開発、営業力強化を実現することを目的に組織の大幅な改変を実行いたしました。営業本部の元に「きもの事業部（旧和装事業）」「ライフスタイル事業部（旧寝装事業）」「ファッション事業部（旧洋装事業）」「マテリアル事業部（旧意匠燃糸事業）」と新たに「ジュエリー事業部」の5事業部とし、継続的な成長を目指します。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は38億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億17百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金1億20百万円、受取手形及び売掛金2億2百万円、商品及び製品6億15百万円が減少したことによるものであります。固定資産は2億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に、工具器具備品10百万円、無形固定資産「その他」が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は40億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億66百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は7億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金1億92百万円、電子記録債務41百万円が減少したことによるものであります。固定負債は34百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に、資産除去債務が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は32億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失計上による利益剰余金8億円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は81.1%（前連結会計年度末は79.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、資金という）は、売上債権の減少、たな卸資産の減少等の増加要因はありましたが、税金等調整前当期純損失8億円（前年同期は税金等調整前当期純損失1億33百万円）と減少したこと等により、前連結会計年度に比べ1億20百万円減少し22億29百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、1億24百万円（前年同期は1億5百万円の減少）となりました。

これは主に、売上債権の減少2億68百万円、たな卸資産の減少6億30百万円等の増加要因はありましたが、税金等調整前当期純損失8億円、仕入債務の減少2億34百万円等の支出要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は、1百万円（前年同期は53百万円の増加）となりました。

これは主に、固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は、0百万円（前年同期は2百万円の減少）となりました。

これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により世界経済が大きく減速いたしました。ワクチンの普及により徐々に回復に向かうものの、感染拡大の収束には不透明な状況が続くことが予想されます。

当社グループの取り巻く環境としては、当社グループのお取引先である百貨店、量販店、専門店も感染拡大防止のため営業時間の短縮や臨時休業を余儀なくされますが、昨年と比較すると影響は限定的とみております。

当社グループとしては、売上高の減少を見据えて抜本的な経費削減を行いました。

以上のことから、2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高5億2百万円、営業利益20百万円、経常利益19百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,350,477	2,229,942
受取手形及び売掛金	942,683	739,687
電子記録債権	178,569	112,759
商品及び製品	1,292,754	677,669
仕掛品	8,525	1,070
原材料及び貯蔵品	35,417	28,575
その他	80,815	59,927
貸倒引当金	△36,151	△14,141
流動資産合計	4,853,092	3,835,491
固定資産		
有形固定資産		
建物	68,138	68,928
減価償却累計額	△61,695	△62,730
建物(純額)	6,443	6,197
機械装置及び運搬具	6,105	5,934
減価償却累計額	△4,633	△5,296
機械装置及び運搬具(純額)	1,472	637
工具、器具及び備品	26,494	19,129
減価償却累計額	△15,566	△18,271
工具、器具及び備品(純額)	10,928	857
土地	83,311	75,141
その他	11,500	-
減価償却累計額	△7,906	-
その他(純額)	3,593	-
有形固定資産合計	105,748	82,833
無形固定資産		
その他	29,157	620
無形固定資産合計	29,157	620
投資その他の資産		
投資有価証券	42,378	53,410
その他	111,122	95,994
貸倒引当金	△33,842	△27,483
投資その他の資産合計	119,657	121,921
固定資産合計	254,563	205,374
資産合計	5,107,656	4,040,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	558,781	365,797
電子記録債務	214,184	172,256
未払法人税等	23,337	17,846
賞与引当金	25,200	16,020
返品調整引当金	26,790	7,312
その他	136,397	149,999
流動負債合計	984,692	729,232
固定負債		
繰延税金負債	2,717	5,827
資産除去債務	11,500	-
その他	30,940	28,886
固定負債合計	45,157	34,714
負債合計	1,029,850	763,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,937,570	2,937,570
資本剰余金	1,236,152	1,236,150
利益剰余金	287,405	△522,581
自己株式	△389,586	△389,581
株主資本合計	4,071,541	3,261,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,157	13,205
為替換算調整勘定	106	2,157
その他の包括利益累計額合計	6,264	15,362
純資産合計	4,077,806	3,276,919
負債純資産合計	5,107,656	4,040,866

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,547,476	3,779,200
売上原価	3,851,264	2,805,961
売上総利益	1,696,211	973,239
販売費及び一般管理費		
販売手数料	180,026	148,053
賃借料	147,386	143,746
運賃及び荷造費	205,290	154,029
広告宣伝費	33,203	25,917
展示費	31,155	20,728
貸倒引当金繰入額	28,958	△24,299
役員報酬	31,700	20,660
給料及び手当	739,648	600,039
賞与引当金繰入額	25,200	16,020
福利厚生費	154,954	133,537
旅費及び交通費	74,176	39,708
減価償却費	20,542	17,497
その他	231,122	213,915
販売費及び一般管理費合計	1,903,365	1,509,553
営業損失(△)	△207,153	△536,314
営業外収益		
受取利息	130	42
受取配当金	1,290	1,187
為替差益	2,477	3,209
還付金収入	-	1,833
敷金保証金返金差額	1,104	-
その他	1,919	2,163
営業外収益合計	6,922	8,436
営業外費用		
支払利息	984	619
株主優待関連費用	4,592	1,971
その他	667	164
営業外費用合計	6,244	2,755
経常損失(△)	△206,475	△530,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
協同組合清算益	73,387	-
助成金収入	-	30,177
特別利益合計	73,387	30,177
特別損失		
ブランド事業撤退損失	-	224,534
固定資産売却損	-	2,827
減損損失	-	29,099
感染症関連損失	-	44,023
特別損失合計	-	300,485
税金等調整前当期純損失(△)	△133,088	△800,941
法人税、住民税及び事業税	11,799	9,045
法人税等合計	11,799	9,045
当期純損失(△)	△144,887	△809,987
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△144,887	△809,987

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△144,887	△809,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,136	7,047
為替換算調整勘定	△6,179	2,050
その他の包括利益合計	△18,315	9,097
包括利益	△163,203	△800,890
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△163,203	△800,890

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,937,570	1,236,152	432,293	△389,571	4,216,444
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△144,887		△144,887
自己株式の取得				△15	△15
自己株式の処分				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△144,887	△15	△144,903
当期末残高	2,937,570	1,236,152	287,405	△389,586	4,071,541

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	18,294	6,286	24,580	4,241,025
当期変動額				
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△144,887
自己株式の取得				△15
自己株式の処分				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,136	△6,179	△18,315	△18,315
当期変動額合計	△12,136	△6,179	△18,315	△163,218
当期末残高	6,157	106	6,264	4,077,806

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,937,570	1,236,152	287,405	△389,586	4,071,541
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△809,987		△809,987
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△2		5	3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△2	△809,987	5	△809,984
当期末残高	2,937,570	1,236,150	△522,581	△389,581	3,261,557

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	6,157	106	6,264	4,077,806
当期変動額				
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△809,987
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,047	2,050	9,097	9,097
当期変動額合計	7,047	2,050	9,097	△800,886
当期末残高	13,205	2,157	15,362	3,276,919

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△133,088	△800,941
減価償却費	20,542	17,497
減損損失	-	29,099
為替差損益 (△は益)	△276	△3,423
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,473	△28,368
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	△9,180
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△11,403	△19,477
受取利息及び受取配当金	△1,420	△1,230
支払利息	984	619
固定資産売却損益 (△は益)	-	2,827
協同組合清算益	△73,387	-
助成金収入	-	△30,177
売上債権の増減額 (△は増加)	472,125	268,839
たな卸資産の増減額 (△は増加)	52,901	630,335
仕入債務の増減額 (△は減少)	△340,821	△234,981
未払又は未収消費税等の増減額	△71,401	28,861
長期未払金の増減額 (△は減少)	-	△2,053
その他	△3,719	10,228
小計	△76,491	△141,525
利息及び配当金の受取額	1,420	1,230
利息の支払額	△984	△619
助成金の受取額	-	25,397
法人税等の支払額	△29,572	△8,539
法人税等の還付額	448	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,179	△124,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,750	△3,095
有形固定資産の売却による収入	-	5,342
無形固定資産の取得による支出	△17,747	△4,258
投資有価証券の取得による支出	△865	△874
敷金及び保証金の差入による支出	△90	△68
敷金及び保証金の回収による収入	2,134	1,500
協同組合清算による収入	73,387	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,068	△1,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,538	-
自己株式の取得による支出	△15	0
自己株式の処分による収入	-	3
配当金の支払額	△33	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,587	△8
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,941	4,983
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△58,640	△120,535
現金及び現金同等物の期首残高	2,409,118	2,350,477
現金及び現金同等物の期末残高	2,350,477	2,229,942

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱商品別に事業部を置き、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは事業部を基礎とした取扱商品別のセグメントから構成された「和装事業」「寝装事業」「洋装事業」「意匠擦糸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「和装事業」は、留袖、訪問着、振袖、袋帯等の和装品と、宝石・貴金属等の指輪、ネックレス等の宝飾品、帯揚げ、帯ペ、半衿、草履、着付小物等の和装小物品を卸売販売しております。「寝装事業」は、羽毛、羊毛ふとん、毛布、タオルケット等の寝装品と葬祭等のギフト商品を卸売販売しております。「洋装事業」は、ブラウス、ニット、スカート、パンツ、ワンピース、スーツ等の婦人洋品とベビー・子供服等を卸売販売しております。「意匠擦糸事業」は、リングヤーン、シャギーヤーン、ポーラヤーン、特殊紡績糸と横ニット等を製造卸売販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額 (注4)
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠捺糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,177,916	537,719	2,027,926	1,803,913	5,547,476	-	5,547,476
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	8,686	-	8,686	△8,686	-
計	1,177,916	537,719	2,036,612	1,803,913	5,556,162	△8,686	5,547,476
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△54,526	28,909	△26,672	99,854	47,564	△254,717	△207,153
セグメント資産	760,449	149,146	904,842	895,949	2,710,387	2,397,269	5,107,656
その他の項目							
減価償却費	6,037	902	3,201	811	10,953	9,589	20,542
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,300	-	280	1,800	3,380	18,117	21,497

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△254,717千円には、セグメント間取引消去30,496千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△285,213千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント資産の調整額2,397,269千円には、セグメント間債権の相殺消去△496,712千円、各報告セグメントに配分していない本社資産2,905,267千円及びたな卸資産の調整額△11,286千円が含まれております。
3. 減価償却費並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額 (注4)
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	695,617	477,268	1,434,445	1,171,869	3,779,200	-	3,779,200
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	7,173	-	7,173	△7,173	-
計	695,617	477,268	1,441,619	1,171,869	3,786,374	△7,173	3,779,200
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△181,620	26,287	△180,683	4,232	△331,784	△204,530	△536,314
セグメント資産	558,107	144,642	403,994	670,145	1,776,890	2,263,976	4,040,866
その他の項目							
減価償却費	4,386	929	608	992	6,917	10,580	17,497
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	-	1,400	1,030	665	3,095	4,258	7,354

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△204,530千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント資産の調整額2,263,976千円には、セグメント間債権の相殺消去△419,237千円、各報告セグメントに配分していない本社資産2,683,213千円が含まれております。
3. 減価償却費並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
4,817,066	730,409	5,547,476

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
3,344,386	434,814	3,779,200

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	全社・消去	合計
減損損失	-	-	-	-	-	-

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

(単位：千円)

	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	全社・消去	合計
減損損失	639	-	1,721	-	26,738	29,099

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	72円50銭	58円26銭
1株当たり当期純損失(△)	△2円58銭	△14円40銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△144,887	△809,987
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△144,887	△809,987
期中平均株式数(株)	56,244,419	56,244,350

(重要な後発事象)

本日開催の取締役会において、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について、2021年6月23日開催予定の第117回定時株主総会に付議することを決議いたしました。詳細は、本日開示された「資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」をご参照下さい。

(その他)

役員の変動

① 代表取締役の変動

- ・ 新任代表取締役候補
平岩 誠 (現 執行役員副社長)
- ・ 退任予定代表取締役
三好 秀樹

② その他の役員の変動

- ・ 新任監査役候補
監査役 伊井 三喜男 (現 内部監査室監査担当)
- ・ 退任予定監査役
監査役 丹下 勝視 (顧問 就任予定)

③ 就任及び退任予定日

2021年6月23日